



会長	菅原文之
幹事	佐々木源悦
会報	佐々木崇光 佐藤静市 高橋利光 渡辺光悦
例会場	ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
例会日	毎週木曜日 12:30~13:30
事務所	ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2328回例会 2011. 11. 24 No.19

本日の出席率

- ・本日の出席率 96%
- ・前回確定出席率 100%

ニコニコボックス

- ・菅原文之会長 三浦孝次郎会員の久々のスピーチに期待して。
- ・遠藤光則会員 会長より11月17日、妻の誕生日に花をいただき、ありがとうございます。三浦孝次郎会員のスピーチに期待します。
- ・三浦孝次郎会員 今日のスピーチ聞き流して下さい。
- ・飯塚仁哉会員 三浦孝次郎会員、若い時に七つの海を航海した折の話でも颯爽とした姿で話してよ。
- ・高橋義文会員 三浦孝次郎会員のスピーチを楽しみに期待しております。レイチェルお嬢さんを歓迎申し上げます。
- ・佐々木源悦幹事以下、三浦孝次郎会員のスピーチに期待して。
鈴木彦太会員 布施孝之会員 村上武彦会員
及川勝永会員 佐々木崇会員 佐藤敬喜会員
千葉吉男会員 氏家良典会員 菅野幸一郎会員
山田直志会員 佐竹孝行会員 阿部賢悟会員
佐藤静市会員 猪股育夫会員 佐々木功一会員
熊谷敏明会員 小野寺伸浩会員 富士原裕子会員
太田陽平会員 長沼盛雄会員 秋山茂夫会員
以上、ありがとうございます。

会長要件 菅原文之会長

オウム真理教の裁判が結審したようで、全員が極刑ということです。昔から宗教というのは、いろんなことに利用されました。しかし、良くないことに利用してはならないと思います。どの様な宗教があるかわ

かりませんが、気を付けていただきたいと思います。2520地区の常盤副代表幹事より電話にて、山形県余目RCの三陸町戸倉地区支援の橋渡しの要請がありました。ガバナー事務所では佐沼RCを紹介したということです。佐沼RCは被災地区にあって多大な活躍をしているという評価があるようです。当クラブの復興支援特別委員会にお願いしたいと思います。

幹事報告 佐々木源悦幹事

- ・水沢RCより、創立50周年記念式典記録DVD届く。
- ・寒川RCより、2780地区の月信が届く。
- ・日本事務局より、国際ロータリー理事指名委員会の報告(2013~2015年度RI理事に北清治氏を指名)
- ・RIより、RIカタログが届く。
- ・12月のロータリーレート 1ドル=78円

各委員会報告

- ・ロータリー財団委員会 (高橋義文委員長)
ポールハリスフェロー、マルチプルに9名のご協力がありましたのでご報告致します。
阿部泰彦会員 猪股育夫会員 遠藤光則会員
太田陽平会員 菅野幸一郎会員 熊谷敏明会員
高橋利光会員 只野佳旦会員 高橋義文会員
今月中に送金致します。
国際ロータリーは、ポリオ撲滅に向けて懸命に活動してきました。撲滅のためにビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団から2度にわたり総額3億5,500万ドルが寄付されました。ロータリーは、2012年6月30日まで、ビル・ゲイツ財団の補助金に2億ドルを上乗せすることを目標に「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」を展開しております。2011年6月30日現在、この目標に対し1億8,500ドルが集まっております。この

ため今年度もポリオ撲滅運動を重点目標としております。佐沼RCの皆さまにも1人100ドルの寄付をお願いいたします。ご協力のほどよろしくお願い致します。

- ・社会奉仕委員会 (佐藤敬喜副委員長)
富士原裕子会員より、使用済切手をいただきました。年間を通して集めていますのでよろしくお願い致します。
- ・姉妹クラブ委員会 (菅野幸一郎委員長)
台北西門RC創立35周年記念式典参加について
期日 平成24年3月11日(日)~3月15日(木)
・ウェルカムパーティー 3月12日(月) 18:00~
・記念式典 3月13日(火) 17:30~
4泊5日で予定を組みましたが、日程については、1日遅れて出発、1日早い帰国も出来ます。出来るだけ多くの参加者を募ります。
- ・復興支援特別委員会 (遠藤光則副会長)
マナーキッズプロジェクト開催のお知らせ
日時 11月30日(水) 13:30~15:00
場所 米川小学校体育館

◎バッチ授与

新入会員 秋山茂夫会員へ

今週のスピーチ

「正常性バイアスについて」 三浦孝次郎会員
最近、正常性バイアスという言葉が非常に注目されております。どういうことかと言いますと、自分に妥協するという事です。「これぐらいでいいだろう」と自分で自分に妥協する。それが労働災害にしても、今回の大震災にしても、自分が自分で妥協する。マニュアル通りに自分で行わないというのが、一つの人間が必ず持っている真性であること。そういうことで、やはり震災後あれだけの震災ですから避難しなさいと、避難してまた戻って来た。何かと言いますと正常性、人間が持っているバイアスが働いて「大丈夫だろう」ということを自分に言い聞かせながら行動している、これが正常性バイアスです。我々の防災関係、事故の関係で非常に多い事故で、マニュアル通りにやらないで起すものがあります。色んなメディアや場所で教育はしておりますが、教育をすればするほど、そういった習性になりがちです。初歩であれば危険であるという意識を必ず持ちますが、それがだんだん繰り返し慣れてくると正常性バイアスが働いて、人間が常に持っている習性が出てくる。

私もその1人でありまして、3.11を振り返ってみますと、非常に自分が情ないくらい何も出来ていなかった。電池一つどこにあるのかも分かりませんでした。全てのライフラインがストップし、3月12日の朝5時に東和町の広報車で給水を開始すると知らせましたので、庁舎前に行くのですが、はて?と、何に水を入れてきたらいいのかと、先ずは思いました。ポリ缶が確かあったという気持だけで探せど探せどありませんでした。ありきたりのペットボトルとヤカンとビニール袋を持って給水所に行き並びました。給水車は大きなタンクで給水車から移し入れる場合、ペットボトルには口が小さくて入れることが出来ませんでし

た。夜が明けてから20人、30人とどんどん人が来たのですが、ほとんどの人が私と同じ様なスタイルで給水の列に並びました。電気釜を持って来た人もいました。電気ポット、鍋を持って来た人もいました。いずれ「水」ということで浮かんだものを持って来たのだと思います。ヤカンを持って来た人が、ペットボトルを持って来た人に移しかえてやらなければなりません。そのため、ヤカンを持って来た人は最後に自分の給水を受け帰ったということで、私もその一人でした。約1時間位かかり、家に帰ったら「相当の人が給水を受けていたのね」と言われました。自分にちゃんとした備えが出来ていなかったことが情けなく思いました。

それから、食料です。あの様な状況の時ほどの様にして食べた方が良いかと考えました。オール電化をしたばかりです。ガスも灯油もありませんでしたので、火が使えず朝食は食べないでお昼まで我慢しました。皆で薪を集めやっと昼食にありつけました。食料はあっても加工する物がなかったわけです。電池もしかり、全てが反省の材料となりました。

棚から落ちた物、倒れた物で家の中は大変でしたが片付けるとき、ダンボールに入れた物を携帯電話で撮っていたので、後でどこに何が入っているか分かりほんとうに助かりました。その時の処理の仕方としては自慢の出来るものではないかと思いました。困ったのは、家や倉庫等の鍵が見つからなかったことで、それからは、一つに束ねて肌身離さず持っております。これも癖になりました。又、小さい乾電池もいくつか備えておくとう便利です。食料もそうですが、我々は常に「ここにあった訳だ」ということが頭の中にこびりついており、実際になかった時はパニック状態になります。

震災後、落ち着いた頃、家族で話をしましたが、常に出る話は食料の問題でした。「どのように調達した」「どのようにして調理した」といったように震災後の話はそういった会話でした。私も確かに、おにぎりとカップラーメンを3日位食べた記憶があります。とにかく出されれば今のうちに食べておかなければならないと直ぐに食べましたので一週間位で3kg体重が増えました。

友達同士の話でも男も料理が出来ないとだめと言うことで、保存出来るものを覚えて作っておくことが良いとなり塩辛の作り方を教わりました。半年位保存出来る塩辛です。イカの皮をとり少々塩を振り2日間干して水分を取る、イカのふも少々塩を振り2日後一緒に混ぜ味噌で調味するものです。皆様も是非試してみてください。豆腐の調理も教わりました。簡単で男でも作れる料理で非常時を乗り越えたいと思っております。この度の震災を契機に皆様も色々なことを経験されたと思いますが、ほんとうに食うや食わずという日もありました。こういったことが必ずやってくるのではないかと、確実にマニュアル通りにやっていかなくてはいけないということを今回の震災でつくづく思いました。生死を分けたのも自分の持っているものだ、他人のものではなく、自分が心の中に持っているものが全てのもの、一つの行動にしても正常性バイアスで動くものだと感じました。